

演奏者のプロフィール

ヴァイオリン 白井 朝香(しらい あさか)

エリザベト音楽大学器楽科卒業。

ソリストとして新広島フィル、ジャパンチェンバーフィルハーモニー管弦楽団、広島市民オーケストラなどと共演。1988年より1994年まで新広島フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務める。2004年出演番組NHK BSハイビジョン「響き」にて日本プロ録音音楽賞 優秀賞を受賞。

CD「体内時計の花」/Arsisをリリース。

2006年より 空檜コンサートに於いて企画、演奏。胎教コンサート、県立広島病院などへの慰問演奏、などにも取り組む。

2007年高校総合文化祭全国大会に於いて 広島県代表として出演したノートルダム清心中、高等学校弦楽部を指揮。文部大臣奨励賞を受賞。

2009年 パリのマドレーヌ寺院で行われたRequiem in Parisにコンサートミストレスとして出演。

2010年光の響サロンを創立、中国地方初のシター教室を開設。以後、京都、福岡などでも指導を展開。

2013年3月イタリアにてヴァイオリンのコンサートを開催。

シターのソロアルバムHommage～賛歌～をリリース。東京オペラシティを皮切りに京都、大阪、韓国、フランスなどシターのコンサートツアーを開催する。また、世界遺産宮島の観光大使に任命され 広島の音楽家として平和希求の祈りを音楽で伝える活動も展開している。

現在、フリーのヴァイオリン奏者として、また中国地方以西では唯一のシター奏者として 幅広い活動を続けている。

ピアノ 木原 宏寿(きはら ひろとし)

玉川大学同専攻及びベルリン芸術大学同大学院修士課程を首席で卒業し、1997年7月にベルリン芸術大学出身の作曲家として初めて、ドイツ国・作曲家「マイスター」の称号を取得。

第7回ヴィニャスキー国際作曲コンクール、ドイツ・ベルリン・ボリス・ブラッヒャー作曲賞、ボスウィル国際作曲ゼミナールで各入選入賞する。

ザルツブルグ市モーツァルト生誕記念200年現代音楽週間、ベルリンフィルハーモニー現代音楽定期演奏会、ISCM現代音楽祭、またテレビやラジオなどで数々の作品が発表され絶賛される。

1993年帰広。日本・ヨーロッパを代表する若手演奏家との、トークコンサートをプロデュースし、被爆50年に鑑み、広島市現代美術館でのシアターパフォーマンス、広島児童合唱団より、広島レクイエム「原爆忌」の委嘱など、数々の作品を発表している。

次回の
ロビー
コンサート

11月 1日(土) 12:00～ ソプラノ 平福 知夏
ピアノ 三島 良子

11月 8日(土) 12:00～ マリンバ 石原 有希子 ほか